



背教と執り成し



2025年 9月13日 第11課



モーセは主のもとに帰って、そして言った、「ああ、この民は大なる罪を犯し、自分のために金の神を造りました。今もしあなたが、彼らの罪をゆるされますならば——。しかし、もしかなわなければ、どうぞあなたが書きしるされたふみから、わたしの名を消し去ってください」。

出エジプト記 32:31, 32, 口語訳





モーセは主のもとに戻って言った。
「ああ、この民は大きな罪を犯し、
金の神を造りました。
今、もしもあなたが彼らの罪をお赦し
くださるのであれば……。もし、それが
かなわなければ、どうかこのわたしを
あなたが書き記された書の中から消し去って
ください。」

出エジプト記 32:31, 32, 新共同訳



「彼らは早くも、わたしが彼らに命じた道から外れてしまった」
(出32:8)。

十戒を受け、偶像を造ってはならないと再び言われた直後
(出20:23)、イスラエルは金の子牛を造って拝んだ。

この背教を前にして、神はモーセにイスラエルを滅ぼして新しい
国にする提案をした(出32:10)。民の背教にもかかわらず、
モーセは2度にわたって神の前に執り成し、彼らが受けるに
値しない赦しを求めた。



背教:

- ➡ 指導力不足 (出 32:1-5)
- ➡ 偶像礼拝と悪 (出32:6)
- ➡ 自らを墮落させる (出32:7-8)



執り成し:

- ➡ 神の義憤 (出32:9-29)
- ➡ 執り成し (出32:30-32)



背教

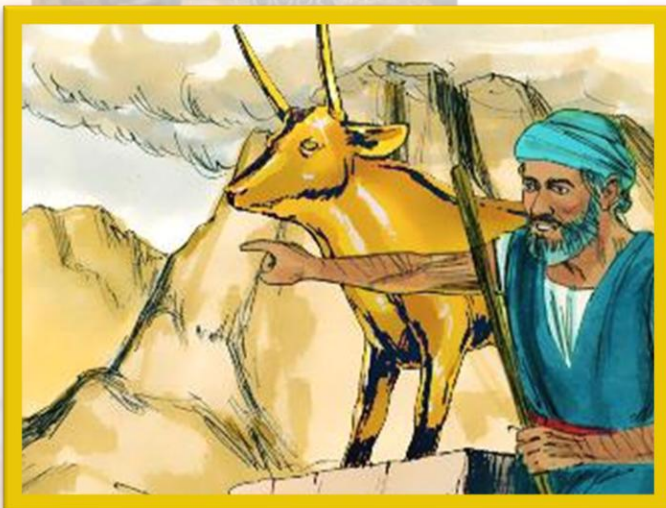
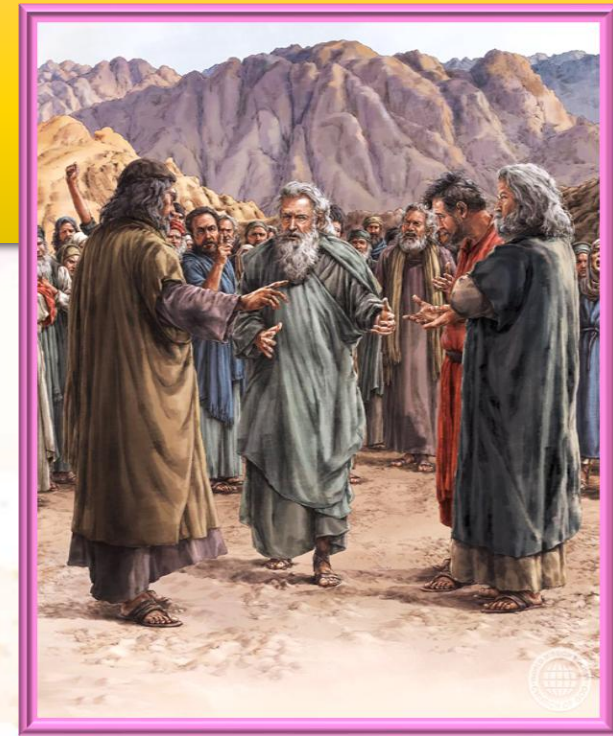
指導力不足

アロンはこれを見て、その前に祭壇を築いた。そしてアロンは布告して言った、「あすは主の祭である」。(出エジプト記 32:5)



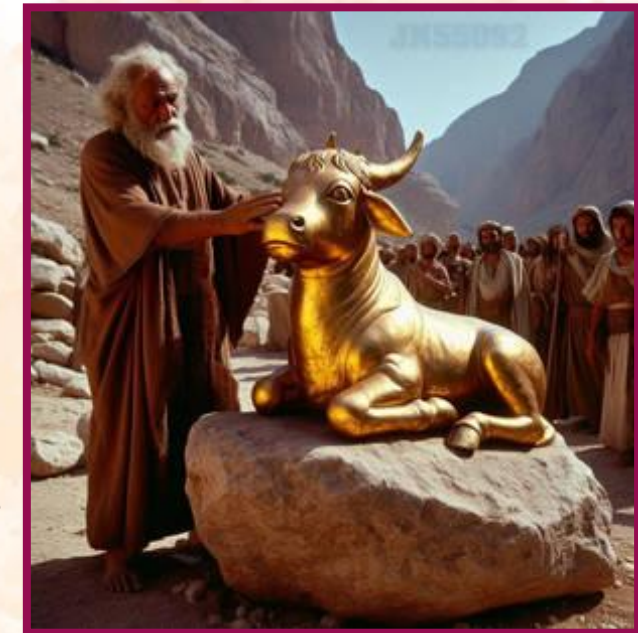
ヘブライ語のエロヒムは「神」の複数形だが、一般的には唯一の神を指すのに使われる：「わたしは、あなたがたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した、あなたの神【エロヒム】である」(出20:2)。

モーセが不在の間、民はアロンに、自分たちが礼拝できる目に見えるエロヒムを造ってくれるように頼んだ。(出32:1)。彼らは、自分たちが受けた戒めと、それに従うという約束をすぐに忘れてしまったのだ(出24:7)。



民と交渉しようとしたアロンの最初のためらい(出32:2)は、背教を根絶するのではなく、背教を導くことにつながった。

アロンは、偶像を作ることの禁止を彼らに思い出させる代わりに、金の子牛を作り、「イスラエルよ、これこそあなたがたをエジプトの地から導き出した神(エロヒム)である！」と宣言した(出32:4)。



指導者であるアロンが、どうして
そこまで弱気になれたのでしょうか。

アロンはどのようにして、
自分の恐ろしい行為を心の中で
正当化しようとしたのでしょうか。

偶像礼拝と悪

そこで人々はあくる朝早く起きて燔祭をささげ、酬恩祭を供えた。
民は座して食い飲みし、立って戯れた。(出エジプト記 32:6)

子牛の形をした偶像を作ることによって、イスラエルの民は全能の神を動物の姿に貶め、創造主の代わりに被造物を拝んだのだ
(ロマ1:23)。

彼らは不合理にも、彫られた像が自分たちを導くことができると考えた。エロヒム自身が子牛になったとさえ思ったかもしれない！
(出32:24)。



実際、彼らは神を崇拝することから悪霊を崇拝することへと転じました(申32:17)。彼らは見える神を崇拝しながら道徳的に墮落し、自分を神とする者になったのです。

悪魔を崇拝することによって、
彼らは自分たちの品位を
落とし始めた。

私たちが創造主に心を捧げず、他の偶像（偶像はたくさんある）に仕えるとき、遅かれ早かれ、それは私たちを道徳的墮落に導くだろう。



今日、人間が創造主ではなく
被造物を崇拝する方法は
どのようなものでしょうか。

自らを墮落させる

主はモーセに言われた、「急いで下りなさい。あなたがエジプトの国から導きのぼったあなたの民は悪いことをした。(出エジプト記 32:7)

像の前にひれ伏すことは（たとえそれが神ご自身、キリスト、聖人を表していたとしても）、神の律法（出20:3-6）に背くことであり、したがって罪と墮落に入ることである。

21世紀の偶像崇拜とは何か？偶像礼拝とは、神にとって代わるものを崇拜することである。偶像とは、神よりも私たちの想像力、愛情、時間、心をとらえ、私たちの思考を奴隷にするものである。

私たちはどんな偶像を崇拜しているのか？自分でリストを作ってみよう。プライド、お金、権力、セックス、食べ物、仕事、ソーシャルメディア....。

これらの偶像を崇拜することは何を意味するのだろうか？私たちの人格、考え方、感情、そして社会生活までもが変容する。私たちは、神との本物の関係を、私たちを救うことのできない中途半端で無意味な交流と交換するのだ。



出エジプト記**32:7、8**を読んでください。

主はモーセに言われた、「急いで下りなさい。あなたがエジプトの国から導きのぼったあなたの民は悪いことをした。彼らは早くもわたしが命じた道を離れ、自分のために鋳物の子牛を造り、これを拝み、これに犠牲をささげて、『イスラエルよ、これはあなたをエジプトの国から導きのぼったあなたの神である』と言っている」。

なぜ神は、イスラエルの宿営に
モーセを送り返されたのでしょうか。



執り成し

神の義憤

どうしてエジプトびとに『彼は悪意をもって彼らを導き出し、彼らを山地で殺し、地の面から断ち滅ぼすのだ』と言わせてよいのでしょうか。どうかあなたの激しい怒りをやめ、あなたの民に下そうとされるこの災を思い直し、(出エジプト記 32:12)



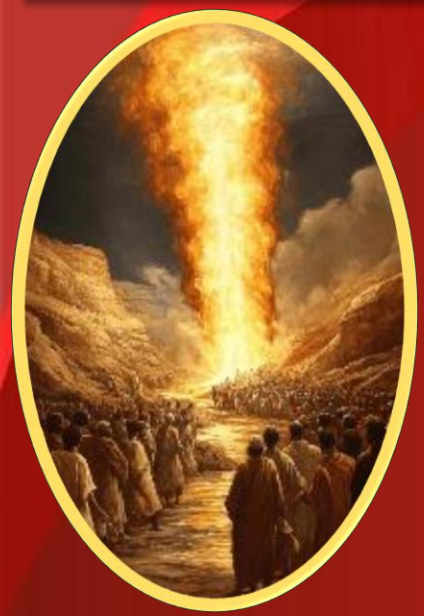
神はモーセに言った。「あなたがエジプトから導き出したあなたの民が墮落したからです」。(出32:7)。

モーセは適切な反応を示した：「彼らは私の民ではなく、あなたの民です。彼らを連れ出したのは私ではなく、あなたです」(出32:11)。神はイスラエルを滅ぼすことをモーセに求めたが(出32:10)、モーセはそれを拒否した。



神の怒りは公正であったが、モーセは「慈しみは裁きに勝る」(ヤコ2:13) ことを知っていた。イスラエルのために執り成し、神が怒りを鎮められたと確信した後、彼は(怒って) 山を降りた(出32:12-15)。背教を見て、彼は契約の象徴である石板を壊した(出32:19)。

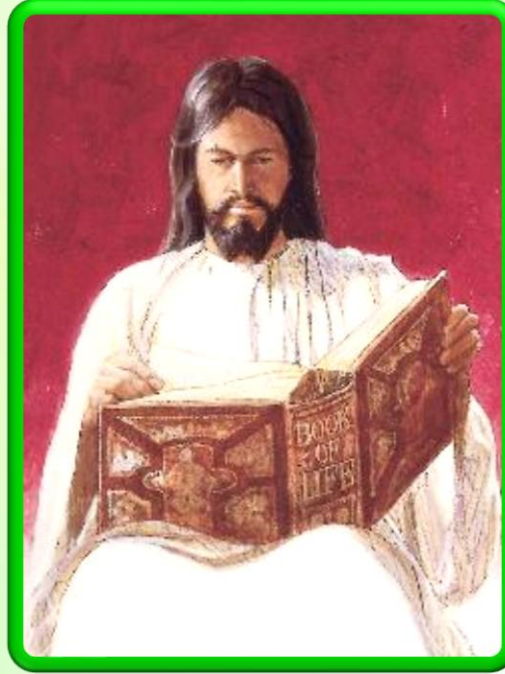
兄の弱々しい言い訳を聞いた後、モーセは断固とした態度で暴挙を止めさせた(出32:20-28)。



この物語は、
執り成しの祈りの力について、
どんなことを教えていますか。

執り成し

今もしあなたが、彼らの罪をゆるされますならば——。しかし、もしかなわなければ、どうぞあなたが書きしるされたふみから、わたしの名を消し去ってください」。 (出エジプト記 32:32)



最初の執り成しによって、モーセは民の滅亡を防いだ。しかし、この罪の後では、神がもはや民を祝福できないことは明らかだった。そこで、モーセは2度目の執り成しをすることにした (出32:30)。

モーセは、民が赦されないのであれば、自らの救いを失っても構わないと考えていた (出32:31-32)。しかし、モーセが求めたのは、通常の赦しではなかった。モーセは神に民の罪を "負う" ことを求めたのだ。

これは、神が自ら罪を背負い、その代償である死を支払うことを暗示していた (イザ53:6、ロマ6:23)。これこそが、イエスが十字架上でなされたことなのだ。イエスは私たちの罪を負い、私たちが受けるべき死を遂げられたのだ (1ペテ2:24)。



モーセは神ご自身に民の罪を
負ってくださるようお願い求め、
ついにイエスにおいて神はまさに
そのことを成し遂げられました。

この驚くべき真理を、私たちは
どう理解すればよいのでしょうか。
この真理は墮落した人類に対する
神の愛について、
何を語っているのでしょうか。

EGホワイト(人類のあけぼの第28章)

こうして彼らは待つ間に、すでに聞かされた律法をよく瞑想し、さらに神がこれからも与えようとしておられる啓示を受けるために、心の準備をする時間が与えられた。これは、そのための絶好の機会であった。こうして彼らが、神の要求をさらに明らかに理解しようとして、神の前にへりくだっていたならば、試練にあわないように守護されたことであろう。しかし、彼らは、そうしなかった。やがて彼らは注意しなくなって、無頓着になり、律法を犯すに至った。

[...]彼らは指導者を見失って途方にくれ、以前の迷信にもどっていった。[...] 人々は神を代表する何かの像が、モーセの代わりに彼らの前に進むことを望んだ。